

5 経済波及効果の算出で事業を見える化

事業効果を検証して EBPM を推進

限られた予算を何に活用するか、いかに有効活用するか、その有益性をどう説明するかは、自治体にとって非常に重要なことです。それらを示す根拠となる数的データを明確にするため、磐田市内への経済波及効果を算出する分析ソフトを導入しました。

1 経済波及効果の算出方法

磐田市独自のソフトで、市独自の産業連関表から導き出した係数表を作り、市内への経済波及効果を算出(資産)するものです。

3つの分析ソフトがあり、分野ごとに経済波及効果を算出します。

- ① 一般用 … 売上の発生などによる経済波及効果を算出
 <<例>>商品券発行による経済波及効果の算出
- ② 建設用 … 建設工事などによる経済波及効果を算出
 <<例>>施設建設などによる経済波及効果の算出
- ③ 観光用 … イベント開催などによる経済波及効果を算出
 <<例>>イベントの開催などによる経済波及効果の算出

【算出(例)】

「みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市」の場合

	5月	9月	12月	3月
R5	1,800万円 (6,000人)	2,100万円 (7,000人)	3,000万円 (10,000人)	3,000万円 (10,000人)
H30	2,400万円 (8,000人)	2,700万円 (9,000人)	3,300万円 (11,000人)	3,300万円 (11,000人)

※上段：経済波及効果 下段：観光客数

2 主な特長

- ① 市内での税収効果、雇用創出人数、利益などを数字で部門ごとに算出
- ② 市内での直接効果、間接効果（一次効果、二次効果）を算出

【例：市内で新たな建物を建設した場合】

- 直接効果 ：建物建設による直接の需要増加額
- 間接効果（一次）：建設の原材料や建材等による生産増加額
- 間接効果（二次）：建設の労働者所得による買い物等による生産増加額